

光学区住みよいまちづくり協議会

推 進 委 員 会

日 時 2026年(令和8年)2月18日(水) 19:30~
場 所 光 交 流 館

次 第

I. 開会あいさつ

II. 学区民憲章唱和

III. 会長あいさつ

IV. 議 事

【1】2025年度「光学区住みよいまちづくり協議会」活動報告

1. 取り組み状況

2. 取り組み経過

3. 「住みよいまちづくり学習会」取り組み状況

4. 団体別研修の実施状況

5. 「住みよいまちづくり学習会」における住民の意見・質問等

6. 「住みよいまちづくり学習会」アンケート結果

【2】来年度にむけての検討

V. 閉 会

光学区民憲章

- 1 笑顔であいさつ 元気で明るいまちをつくりましょう
- 1 声をかけあい助け合い 安心なまちをつくりましょう
- 1 国宝と遺跡のまちを愛し 誇りをもちましょう
- 1 芦田川を大切にし マナーと心がけできれいなまちをつくりましょう
- 1 子どもたちのために 未来へ続く光学区をつくりましょう

【1】2025年度(令和7年度)住みよいまちづくり協議会活動報告

1. 取り組み状況

人権問題に対する正しい理解と認識を深めること・地域に関する話し合いをすることにより「明るい住みよいまちづくりの実現」をめざし、協議会も46年間の学習活動を継続してきました。

2025年度の学習テーマは「暮らしの中のさまざまな問題を考える」とし、今までに積みあげてきた学習会の実績をいかし、今日的なさまざまな問題や身近な地域の課題を考える中で誰もが自身の問題として話し合い、基本的人権の大切さを学習できる場にしていきました。

また、地域の活性化にむけて問題点を共有し、対策を話し合うなど「誰もがいつまでも住み続けたい」と思えるまちづくりの実現にむけて、個人や町内会単位でできることはすぐ実行していけるよう取り組みを行いました。

2. 取り組み経過

月/日	行事名	内 容	参加者
7/ 4 (金)	事務局 打ち合わせ	・役員会(7月9日開催)にむけての検討 ・研修内容について	6人
7/ 9 (水)	役員会	・推進委員会(7月16日開催)にむけての検討	13人 (リモート 2人 (内数))
7/16 (水)	推進委員会	・2024年度(令和6年度)活動報告 ・2025年度(令和7年度)活動方針及び事業 計画(案) ・2025年度(令和7年度)役員構成 ・研修 人権啓発DVD「母のさがしもの」視聴 ・実践発表 淀川町内会	64人 (リモート 16人 (内数))
8/28 (木)	事務局 打ち合わせ	・推進委員会(9月10日開催)にむけての検討 *「住みよいまちづくり学習会」にむけて *教材の検討	5人
9/10 (水)	推進委員会	・「住みよいまちづくり学習会」の進め方について ・教材・日程について 他 ・教材視聴「親愛なる、あなたへ」	55人 (リモート 16人 (内数))
10/10~ 12/ 7	町内会別 「住みよいまち づくり学習会」	学区内15町内会17会場で実施	254人
2/10 (火)	事務局 打ち合わせ	・推進委員会(2月18日開催)にむけての検討	6人
2/18 (水)	推進委員会	・「住みよいまちづくり学習会」報告 ・今年度のまとめ ・来年度にむけて	人 (リモート 人 (内数))

3. 「住みよいまちづくり学習会」取り組み状況

(1) 学習テーマ

「くらしの中のさまざまな問題を考える」

(2) 重点目標

- ①近隣を誘い、昨年度より少しでも参加者を増やし、地域の輪を広げる。
- ②人権を一人ひとりの現代的な課題として受けとめ、より幅広い年齢層の参加が得られる努力を進める。
- ③地域活性化・住みよいまちづくりのために何ができるか考え実践する。
- ④高齢者に関わる問題について考える。
- ⑤CS（コミュニティスクール）を地域で応援しよう。
- ⑥各種団体別研修を実施する。
- ⑦登録型本人通知制度を推進する。
- ⑧SDGsを知ろう。
- ⑨地域包括支援センターの地域との関わりを知ろう。

(3) 学習方法

○ビデオフォーラム（13会場）

- ・DVD「親愛なる、あなたへ」（9会場）
- ・DVD「桃香の自由帳」（1会場）
- ・動画 「特殊詐欺」（3会場）

○話し合い（4会場）

身近な町内会の活動や防災、ごみ問題など地域の活性化やまちづくりに関する話し合いを実施。

*人権啓発リーフレット「誰もがいきいきと暮らせる地域づくり～みんなできずく家族の絆～」(2011年に発行されたリーフレットを一部編集)を希望する会場で参加者に配布しました。(10会場)
話し合いの中でリーフレットを参照した会場もあります。

(4) アンケートについて

参加者の意見を今後に反映させるため、記述欄を設けたアンケートの記載をお願いしました。

(5) 実施期間

2025年10月10日から12月7日までの間

(6) 住みよいまちづくり学習会実施状況

月	日 (曜)	町内会名	会 場	学習形態
10	9 (木)	朝 日 ★	嘉会庵(朝日会)	ビデオフォーラム 「親愛なる、あなたへ」
	10 (金)	栄	光交流館	ビデオフォーラム 「親愛なる、あなたへ」
	10 (金)	沖野上親和	町内会長宅	ビデオフォーラム 「親愛なる、あなたへ」

	11 (土)	東鷹取	鷹取ふれあいプラザ	話し合い 「地域活性化・まちづくりについて」
	12 (日)	淀川親和会	光交流館	ビデオフォーラム 「親愛なる、あなたへ」
	25 (土)	沖野上親栄会	草戸の家	ビデオフォーラム 「特殊詐欺」
11	1 (土)	西鷹取	鷹取ふれあいプラザ	ビデオフォーラム 「桃香の自由帳」
	7 (金)	双葉	光交流館	ビデオフォーラム 「親愛なる、あなたへ」
	8 (土)	芦田 ★	芦田町内会館(芦田カフェ)	ビデオフォーラム 「親愛なる、あなたへ」
	8 (土)	芦田	芦田町内会館	ビデオフォーラム 「親愛なる、あなたへ」
	9 (日)	半坂	半坂会館	ビデオフォーラム 「特殊詐欺」
	13 (木)	朝日	嘉会庵	ビデオフォーラム 「親愛なる、あなたへ」
	14 (金)	淀川睦	特別養護老人ホームくさど	ビデオフォーラム 「親愛なる、あなたへ」
	16 (日)	下之丁	草戸コミュニティセンター	ビデオフォーラム 「特殊詐欺」
	16 (日)	上・中ノ丁	上之丁会館	話し合い 「よりよい町内会にするには」
	23 (日)	南鷹取	光交流館	話し合い 「防災訓練を振り返りつつ、町内会のあり方・つながりについて」
12	7 (日)	淀川	光交流館	話し合い 「淀川町内会を住みよくするには」
計		15町内会	17会場	

★高齢者のみに呼びかけて昼間実施した・・・2会場

15町内会・17会場で学習会を実施し、学区町内会加入世帯1,896世帯のうち
総参加者は254人でした。(2024年度292人)

1町内会については、学習会の準備ができないため実施できませんでした。

(7) 住みよいまちづくり学習会の成果と課題

① 成果

- ・「地域のつながり」、「介護のこと」、「多様性社会」などDVDを視聴して、改めて気づかされること、考えさせられることがあった。
- ・「いつまでも住みたい地域とは…」、「地域を住みよくするにはどうすべきか」を考えたり、日頃の思いや意見を出し合い共有する機会になった。

② 課題

- ・意見を共有しても、難しい課題も多く、毎度同じ話を繰り返すようになる。劇的な

改善が見込めなくても、話し合いを継続することに意味があると思うが、時に理解を得るのが難しい。

- ・ 広く参加を呼びかけても、役員の参加にとどまる町内会が多数である。
- ・ 「今後もこのような住民学習が必要なのか」「やらされている感が大きく、必要性を感じていない人が多いのではないか」と感じるという意見がある。

4. 団体別研修の実施状況

月	日	団体名	テーマおよび教材	講師	参加者
7	2	在住行政職員の会	「行政職員の会」の成り立ちと役割 「福山市人権施策基本方針」について	高橋 雅和	21人
10	15		・「行政職員の会」の成り立ちと役割 ・「住みよいまちづくり学習会」にむけて ・人権尊重のまちづくりの基本理念 *教材視聴 「九州電力の取り組み」		10人

5. 「住みよいまちづくり学習会」における住民の意見・質問等（主なもの）

◆理解が進んでいる内容

【さまざまな人権問題・身近な地域の問題に関するもの】

- ・ 地域のためになることをしたい。「恩送り」のことばに込められた思いは、会員の皆にある。もっと近所の人と声をかけあい、日々の生活の中でしっかりとした信頼を築きたい。
- ・ 互いに思いやりをもって生活するのがすべてだと思う。
- ・ 近所の人との会話・対話が大切。一言言葉を交わすだけで、心の交流ができ、元気がでて、活力が生まれるのだと思う。声掛けから始まるのだと痛感した。
- ・ 地域とのつながりを大切にしていきたい。一点だけを見て人を判断しないように心がけたい。
- ・ 服装や髪型などで人の内面まで判断していないか。ファッションは、個人の内面や生き方を表現する手段と理解することも必要。
- ・ さまざまなことが異なる個人の集まりなので、すべての人が同じ方向に向くことはないし、向かせることもできない。昔と今とでも価値観も変わっている。地域活動に積極的に参加して居場所づくりを。（多様性）
- ・ 自宅電話は留守番電話を活用する、知らない番号には出ないなど、特殊詐欺に騙されないための対策を日頃から行うことが大切。（特殊詐欺）
- ・ 町内会のふれあいイベントが地域内のお互いの関わりを持つためのツールとなっている。これからも地域内の関わりを大切にするためにも、継続した町内会運営を続けていきたい。
- ・ 町内会の会員の横のつながりが薄れてきている。子どもの見守りによる安全確認や災害等のリスクについて、地域のつながりを強くしていくことが何より重要になってきている。
- ・ 高齢化が進み、活動の幅も以前と比べると減少してきたが、町内会の所有する施設を中心に地域のつながりを持つことができていると思う。今後の対策も検討する必要がある。

- ・新たに企画した町内会イベントによって、子どもたちと高齢者との交流を持つことができた。今後も、地域のつながりを大切にするために、いろいろなイベントを行なっていきたい。
- ・子育て世代として、地域の方々に支えてもらっているのに十分気づいてなかったと、町内会の会合を通して理解が深まった。
- ・高齢化、デジタル化が進み、わからないことをそのまま受け入れてしまう事例が聞かれるが、不安な気持ちや体験を共有することで、困った時に隣近所で助け合える地域づくりをめざしたい。また、最新の情報を共有することで、詐欺などに騙されることを未然に防ぎたい。
- ・組内であってもほとんど付き合いがないケースもあるであろう中、地域のつながりを強める点でも声を掛け合ったり、集まったりした意義は大きい。現実には大きな災害が起こった場合、パニックがおこることは想像に難くない。訓練を通じて、その場を収めていくリーダーを育てていくのも重要なことである。(防災避難訓練)

【高齢者問題に関するもの】

- ・少子高齢化社会において、仕事と介護の両立はできるか。核家族化が進む今、老人だけの家庭も増えている。せめて地域の中で存在をわかってもらえるようつながりを持っておきたい。
- ・現在は民生委員が声掛けを定期的に行なっているが、町内に高齢者がどれくらいいるのか実情を把握し、声掛けをしていくといいと思う。
- ・他人に迷惑を掛けたくない、掛けられたくない、ではなく「お互いさま」の気持ちで迷惑を掛けたり、掛けられたりしてもよいのではないか。
- ・介護が必要な高齢者がいる家庭が増えており、地域として何らかの形で見守り、支援ができるようにしたい。
- ・高齢者の憩いの場があることで、近況を確認することもできるので、継続していきたい。

【外国人の問題に関するもの】

- ・地域交流の幅を広げるため、町内会全体でイベントを企画していきたいと考えるが、外国人の方も参加しやすい環境づくりがあるとよい。

◆課題となつてのこる内容

【さまざまな人権問題・身近な地域の問題に関するもの】

- ・現役で働いている人も多く、地域活動にまで手が回らないのが現状。
- ・町内会の加入世帯の減少と高齢化に伴い、町内会活動を継続していくのが難しくなってきた。町内会活動、災害時等の対策の検討が必要。
- ・将来的に人が少なくなることについての対策を検討してほしい。(空き家問題含め)
- ・空き家のガラスが割れているので治安が心配。
- ・通学路にユスリカが多く、子どもたちの目や口に入って健康によくない。殺虫灯を設置するなどの対策をしてほしい。
- ・地域交流の場をと企画するが、なかなか人が集まらない。地域の連帯感を深め、誰一人取り残さない地域を希望する。

【子どもの問題に関するもの】

- ・虐待と判断する基準が難しい。一生懸命子育てしている中で疑われてしまうのは心が痛い。

【高齢者の人権に関したのもの】

- ・鷹取ふれあいプラザが閉館するため、新交流館を利用するようになるが、場所が遠くなるため高齢者の利便性が悪くなる。
- ・お年寄りが光交流館や鷹取ふれあいプラザに出向くことが難しくなっている。
- ・コロナ以降、特に人と人との関わりが減ってきた。

6. 「住みよいまちづくり学習会」アンケート結果（集計一覧別紙）
く アンケート自由記述欄から >

問4 どんな学習内容を望むか。（8. その他を選んだ方の自由記述欄から）

- ・南海トラフ地震（最新情報）
- ・町内会への入会、役員問題
- ・フェイク情報（SNS…）
- ・ファクトチェック
- ・迷惑電話問題
- ・多様性社会について
- ・もしもの災害の時のための学習
- ・大人だけで決めるのがそもそも間違い。学生は社会に出る前の準備期間と考えているので、バイトやボランティア等、家族以外の大人と話す機会を増やすべきでは？
- ・詐欺被害の現状（どんな手口や町内で実際に電話があったのかを話し合う）
- ・防災

問5 「すべての人が大切にされるまちづくりが進んでいる」と思わない理由

- ・土地ごとに氏神さまがまつられ地域住民が氏子になる風習が室町時代からあった。それは地域住民の団結が目的で…、祭りにも集まりが非常に少ないのは考えものだ。
- ・人とのつながりが少ない。
- ・組長の仕事が大変だ。
- ・本来、誰もが対象と考えていても、自分が何事にも当事者として考えられる人が少ないからだと思う。考え方としては、大人もだが、子どもが授業の一環として見て感想文などを書き、思い返す時間をとったほうがいいと思う。
- ・少子高齢化で人とつながることが難しくなっている。子どもの居場所も少ない。意識的に人とつながることを考えたり、増やしたりしていくことはいると思う。
- ・地域交流の場を設定されるか、なかなか集まらない等、課題は多い。
- ・特定の人に負担がいかないような取り組みにするのが時間が掛かりそうですが、よろしく願います。

問6 その他の意見（学習会に参加して深めたいこと、尋ねたかったこと、ご意見）

- ・グループ討論はハードルが高い。
- ・昨年の振り返りをしたほうがよい。
- ・参加者の世代にかたよりがあり、気になる。
- ・住民の多くの方が、部外者でなく、まちづくりの当事者であると思えるとよいと思った。
- ・子育て世代として、地域の方々に支えてもらっているのに十分気づいていなかったと町内会の会合を通して理解が深まった。
- ・町内会の人々のつながりを深めるイベントを行うようにしたらよいと思う。

- まずはあいさつから始めましょう。
- お互いに話してみないとわからないことも多いと思った。
- 近所同士でも、新しい人、若い人が来られてもあいさつがない。
- 最近では、特に若い人達で町内会に入らない人が多いと聞くと、そうしたとき問題等は発生しないのか。
- 話題が難しいときもあるが楽しい。
- ラジオ体操を地域でやったらどうか。また、老犬が移転になり、ペタンクの道具が不要になると思うのでもらい受けて地域でやったらどうか。
- 年をとり、すべてが身近なこと。いい雰囲気であった。
- 具体的な訓練（防災訓練）
- 地域の連帯感を深め、取り残される人がいない地域を希望する。
- 行事のたびに名札をつけたら、皆と知り合えるのでは？
- 一人暮らしの年寄なので、参加できることはなるべく参加したいと願っている。
- 低所得、一人住まい、高齢者、住宅、改築等々、国・県・市からの補助金等の種類や申請及び困ったときの相談窓口の一覧の作成（支援団体の紹介）と説明会をしてほしい。
- さらに人権意識の高揚を図り、発展に学習等々を充実していくように努めたいと思う。
- 福山市の高齢者サービスについて
- 今後増えるであろう外国人との交流について話し合う機会があってもよいと思う。
- 鷹取ふれあいプラザの今後の活用
- 一人ひとり大切に
- 家庭でのあいさつから地域のあいさつへ継続していく。
- 自分にも何ができるか考えてみたいと思う。いずれ自分もなるお年寄りが幸せであるといいと思う。
- 地域づくりについて考えていくことで4の1～6は解消できるのではと思う。地域住民のコミュニケーションなくしては何も言えない、できないのではないのか。
- ごみステーションの使用ルールの厳格化は是か非か。
- 今回DVDは長すぎたみたいです。

【2】2026年度にむけて（案）

- 「あいさつ」と「声掛け」運動を、学区を挙げて推進する。
アンケートの中にも意見が多数あがっている「あいさつ」や「声掛け」について取り組むことにより、地域のつながりを深めていく。また、これがCS（コミュニティスクール）を地域で応援することになり、児童・生徒も同じ目標で地域との一体感を育みたい。
- 「無意識の思い込み発見かるた」の活用

2025年度住みよいまちづくり学習会 アンケート集計一覧

1. あなたの年齢は？

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	合計
人数	0	0	3	26	26	47	89	46	237
率(%)	0.0	0.0	1.3	11.0	11.0	19.8	37.6	19.4	100
2024年度(%)	0.0	0.0	1.2	9.7	13.2	23.3	36.4	16.3	100
2023年度(%)	0.0	0.0	1.9	10.1	11.2	27.5	31.4	17.8	100

2. 町内会別「住みよいまちづくり学習会」に、今回を含めて何回ぐらい参加されましたか？

	初めて	2~9回	10回以上	未回答	合計
人数	36	113	86	2	237
率(%)	15.2	47.7	36.3	0.8	100
2024年度(%)	16.2	50.6	32.8	0.4	100
2023年度(%)	21.3	45.3	32.2	1.2	100

3. 今回の学習会はよく理解できましたか？

	理解できた	だいたい理解できた	理解できなかった	未回答	合計
人数	132	71	6	28	237
率(%)	55.7	30.0	2.5	11.8	100
2024年度(%)	46.3	41.3	2.3	10.0	100
2023年度(%)	60.1	32.9	1.6	5.4	100

4. どのような学習内容がいいですか？（複数回答あり）

	高齢者問題	女性問題	身回りの差別-偏見	青少年問題	障がい者問題	同和問題	地域づくり	その他	未回答	合計
人数	103	6	31	9	7	1	117	10	9	293
率(%)	35.2	2.0	10.6	3.1	2.4	0.3	39.9	3.4	3.1	100
2024年度(%)	53.2	2.3	17.2	6.8	7.5	0.3		7.8	4.9	100
2023年度(%)	53.4	3.8	16.9	6.4	7.7	1.9		6.4	3.5	100

5. あなたが住んでいる地域では、すべての人が大切にされるまちづくりが進んでいると思われますか？

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	未回答	合計
人数	57	130	15	3	19	13	237
率(%)	24.1	54.9	6.3	1.3	8.0	5.5	100
2024年度(%)	18.1	52.5	8.5	1.9	14.7	4.2	100
2023年度(%)	16.3	61.6	7.0	2.3	11.6	1.2	100

* 2025年度 参加者254人のうち、アンケート回答者は237人

2025年度 住みよいまちづくり学習会実施状況

月	日	曜日	開催時間	町内会名	会 場	学習 形態	司会者	2025年度			2024年度		
								参加人数 (人)	呼掛数 (世帯数)	参加率 (%)	参加人数 (人)	呼掛数 (世帯数)	参加率 (%)
11	16	日	19:00	上・中ノ丁	上ノ丁会館	話し合い	渡邊 賢司	19	80	23.8	22	80	27.5
11	16	日	19:00	下之丁	草戸コミュニティセンター	③	小山美津広	12	29	41.4	11	29	37.9
11	9	日	10:00	半 坂	半坂会館	③	志田原久人	17	26	65.4	16	27	59.3
11	8	土	9:30	芦 田	芦田町内会館(芦田カフェ)	①	花谷 忠厚	14			12		
11	8	土	19:30	芦 田	芦田町内会館	①	花谷 忠厚	14	265	10.6	17	265	10.9
10	11	土	19:00	東鷹取	鷹取ふれあいプラザ	話し合い	小林 祥二	12	234	5.1	14	240	5.8
11	1	土	19:30	西鷹取	鷹取ふれあいプラザ	②	山本 信三	22	150	14.7	12	151	7.9
11	23	日	13:30	南鷹取	光交流館	話し合い	上代 隆志	17	230	7.4	26	227	11.5
12	7	日	13:30	淀 川	光交流館	話し合い	高橋 俊博	17	150	11.3	27	160	16.9
10	12	日	10:00	淀川親和会	光交流館	①	平盛 照明	11	26	42.3	12	26	46.2
11	14	金	19:00	淀川睦	特別養護老人ホームくさど	①	松村 孝司	14	164	8.5	18	20	90.0
10	10	金	19:20	栄町親交会	光交流館	①	守岡 隆紀	16	95	16.8	19	25	76.0
10	10	金	19:30	沖野上親和	町内会長宅	①	井上 義夫	16	38	42.1	19	20	95.0
10	25	土	18:00	沖野上親栄会	草戸の家	③	岡本 正三	12	26	46.2	15	26	57.7
				光		実施せず	栗原 龍三			#DIV/0!	10	70	14.3
11	7	金	19:00	双 葉	光交流館	①	川上 澄雄	18	127	14.2	13	128	10.2
11	13	木	19:00	朝 日	嘉会庵	①	小坂 章則	11			13		
10	9	木	13:00	朝 日	嘉会庵(朝日会)	①	池田 武光	12	187	12.3	16	197	14.7
合 計								254	1,827	13.9	292	1,691	17.3

- 学習形態 ① ビデオフォーラム「親愛なる、あなたへ」視聴と話し合い
 ② ビデオフォーラム「桃香の自由帳」視聴と話し合い
 ③ ビデオフォーラム「特殊詐欺」視聴と話し合い